

4月から全ての「紙パック」が リサイクルできるようになります

～資源化にご協力ください～



市では現在、紙の牛乳パックを回収し、資源化を行っています。家庭での分別をはじめ、学校給食においても子どもたちが牛乳パックを洗い、リサイクルに協力してくれており、年間3.1トンを資源化できています。

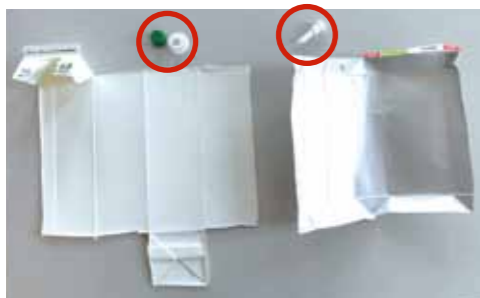
4月からは、牛乳パックのほか、焼酎、酒、豆乳、ジュースなどの紙パックも資源化が可能になりました。**内側にアルミが貼ってあるものも資源化可能です。**

分別方法



「紙パック」のマークが入っている紙パックは、すべてリサイクルの対象となります。

アルミつきもOKです



洗って開き、乾燥させ、プラスチックキャップ(注ぎ口)は取り外します(赤い○の中)
※キャップはプラスチックごみで出してください。



容器の中が銀色のものと、白いものに分けてください

出し方

「分別収集日」または「月1回の紙類・衣類・紙パック・ペットボトルの回収日」に出してください。

ルフランマルシェにお越しください

旧山川南部小学校の校舎内に整備した「ルフランカフェ」で、ルフランマルシェを開催します。

カフェで出店されているおいしい料理や音楽ライブなどをお楽しみください。「ルフラン」の新たなシンボルとなる大きな壁画の完成披露会、バイオマスセンター「ルフラン」の施設見学会も行います。

皆様のお越しをお待ちしています。

- 日時 3月20日(木)午前10時～午後3時
- 場所 旧山川南部小学校

※ルフランカフェの情報は、インスタグラム、フェイスブックで発信しています。



ふわふわくすべも
やって来る!!



3月は「自殺対策強化月間」です

☎ 福祉事務所 福祉総務・障がい福祉係 (Tel.64-1518)

自殺は、その多くがさまざまな悩みで心理的に追い込まれることが原因です。誰にでも起こりうる身近な問題であり、その多くが防ぐことができる社会的な問題であるとされています。みんなで支えあい、「誰も自殺に追い込まれることのない社会」を目指しましょう。

【このサインに気づいてください】
悩みを抱えている人は不眠などの「このサイン」を発していることが多いとされています。周囲の人が「このサイン」に気づき、支えることが大切です。「このサイン」に気づいたら、「眠れている？」など心配している気持ちを相手に伝えてください。悩みを話してくれたら、早めに専門家や相談窓口にご相談するように促してみましよう。

【一人で悩まず相談してください】
ストレスや悩みが重なっているときなど、誰でもこのバランスを崩すことがあります。身近な人に悩みやストレスを聞いてもらい、張り詰めたところを緩めてみましょう。また、周囲の人に相談ができないときは、この悩みに関する相談窓口にご相談してみてください。

この悩みに関する相談窓口 ※24時間365日対応
ふくおか自殺予防ホットライン

Tel.092・592・0783

みやま市こころの健康づくり講演会(無料)

- 日時 3月28日(土) 午前10時～
 - 場所 まいピア高田
 - 講師 久留米大学学長 内村直尚教授
 - テーマ ゲートキーパー研修
- ※ゲートキーパーとは
こころに不調を抱える人等の悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聞き、必要な支援につなげ、見守る人のことです。身近な人のSOSに気づき、声をかけることが自殺予防の第一歩です。
※事前申し込み不要

住宅用火災警報器10年経ったら取り替えましょう

☎ 消防本部 予防課 指導係 (Tel.62-5993)

住宅用火災警報器は、古くなると電子部品の寿命や電池切れなどで火災を検知しなくなることがあるため、機器本体を取り替えます。交換の日安は10年です。(家電製品売場などで購入できます。)

■設置する場所
寝室・階段など

※階段は、寝室が2階以上にある場合に必要です。

■点検方法 ひもを引っ張ったり、ボタンを長押しすると、音声などで正常に作動するかどうかを知らせてくれます。

■点検とお手入れ

- ① 住宅用火災警報器が汚れ、ホコリが付くと火災を感知しにくくなりますので、最低限1年に1回は、乾いた布でふきましよう。
- ② 定期的に作動点検をしましょう
- ③ 本体についているひもを引いたりボタンを押して、最低限半年に1回は、作動点検をしましょう。

【正常な場合】

正常をお知らせするメッセージまたは火災警報音が鳴ります。

【音が鳴らない場合】

電池がきちんとセットされているか、確認してください。それでもならない場合は、「電池切れ」か「機器本体の故障」です。取扱説明書をご覧ください。

③ 取り替えのサイン

電池が切れそうになれば、音や光で知らせる機能を有しています。多くの住宅用火災警報器は電池寿命が10年(通常の使用状態)となっており、本体交換のサインにもなりますので、忘れずに交換しましょう。

※電池寿命はメーカー、機種によって異なります。詳しくは取扱説明書を確認してください。

